

令和6年度 事業報告

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人石見銀山資料館

1 全体総括

令和6年度はコロナ過後の本格的なシーズンとあって入館・宿泊者の大幅な回復を期待したが、結果的には資料館、熊谷家-2%、河島家-6%と微減ながら前年度実績を下回る結果となった。しかし、指定管理施設においては条例改正により利用料の改定がなされたこと、また10月以降JR西日本のクルーズトレイン瑞風の定期送客が行われるようになったことで収入面では大幅な増収となった。さらに、「とどける博物館」の企画でクラウドファンด์を実施したところ多くの方々からの共感を得、目標金額を大幅に上回る寄附金を頂くことができた。このような結果により若干ながら黒字経営を達成することができた。

次に資料館及び指定管理施設での活動状況について総括すると、資料館では研究員を1名増員して新たな活動としてバーチャリオン株式会社の協力を得てバーチャルミュージアムへの取り組みに注力した。この延長線上の企画として「とどける博物館」を構想し、その実践を行った。これらの取り組みは身体的・物理的に博物館へのアクセスが困難な方々にバーチャル技術を活用して博物館を届けるというものである。この活動については本年1月に開催された「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録10周年記念国際シンポジウムにおいて報告し、高い評価をいただいた。また、「とどける博物館」は出雲市・大田市内の高齢者施設でも実践を行っており福祉施設との連携という博物館としての新たな取り組みを提案した。

指定管理施設については「仕様書」に示された事業を着実に履行し、大田市の業務評価においても「A」評価を頂いた。特に当該年度の目玉事業では熊谷家住宅を会場として実施した「錦織の世界ー織物美術家龍村光峯と錦織作家龍村周の織の世界」（令和6年6月30日～7月28日）がある。この企画は大田市に所縁のある京都の錦織作家龍村周氏および大阪大学総合学術博物館伊藤謙氏の提案で実現したもので、オープニングセレモニーには大田市長楫野弘和様をはじめ元文化庁長官近藤誠一様、天台寺門宗総本山三井寺長吏福家俊彦様などの来賓をお迎えして華々しく開催した。この特別展は資料館と熊谷家の2会場で実施したもので、展示を通して施設間の連携と相互に送客ができたことは大きな成果であったといえる。また、例年実施している「お雛様」展では通常の雛飾りに加え、職員が製作した和紙人形や和菓子、祝善を展示した。あわせて関連イベントとして貝合わせや絵付けなどの体験メニューを用意した。この結果、当該年度は大田市民の入館も多く、昨年度の229名に対し今年度は411名となるなど市民の皆様に喜んでいただけた企画となった。

大学生のインターンシップでは昨年度同様に中央大学の学生を受け入れたほか、関西学院大学ハンズオンラーニングセンターの実習の協力を行った。これらの2大学は定番の受け入れとなっており、大学側からの受け入れに対する高い評価を頂いた。

当該年度は結果的には黒字となったが、経営的には余裕がある状態では必ずしもない。経営の安定化を目指して事業の見直しや改善をしっかりと行うことで、持続可能な組織運営ができるように努めていきたい。

2 事業内容

事業名	事業内容	実施予定の 日時、場所、	受益対象者の範囲 及び予定人数	事業費 (単位：千円)
石見銀山資料館の 管理運営事業	入館券の販売、展示解説、遺跡のガイドランス 企画展「錦織の美」展 (6/30～7/28)	通年 石見銀山資料館	一般・小人 9,642人 (企画展680人)	7,051
大森の町並み関連 施設指定管理事業	町並み3施設管理運営 ・熊谷家住宅 企画展「錦織の美」展 ・旧河島家 ・宗岡家	通年 熊谷家 〃 河島家 宗岡家	一般・小人 8,606人 (企画展651人) 3,951人 239人	22,539
書籍・物品等の販売 事業 自主事業	・書籍地場製品の販売 ・参加費 ・書籍地場製品の販売 ・イベント等参加	通年 石見銀山資料館 〃 熊谷家 〃	一般・小人 ショップ 65人 ショップ 66人	650 312
受託事業	・資料調査 ・デジタル動画作成 ・デジタルサポート	石見銀山資料館 通年	2団体	740
その他法人の目的 の達成に必要と認められる事業	・バーチャルミュージアム事業 ・クラウドファンディング 「とどける博物館」	石見銀山資料館 熊谷家住宅 通年	一般 65人	3,815